日刊 動労千葉
81.5.2
No.731
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一-八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉砕！

反動秋山局長を追放！

「本部」土屋一派解体・組織強化へ奮闘しよう！

全組合員のみなさん。動労千葉と三里塚闘争破壊の核心的狙いとしてあった四名への解雇処分をはじめとする二二五名もの大量不当処分攻撃の直接の〝責任者〟反動秋山局長を反処分闘争の長期強じんなたたかいによって逆に追放するという勝利をかちとったことを報告する。反動秋山差別労政がいかに卑劣であり、不正義であるかは天下周知の事実である。動労千葉破壊のためにのみ千葉鉄局へ赴任し、動労「本部」反動分子と結託して六名の役員を解雇し、〝首切り局長・秋山〟と職場から怨嗟の的となっていたこの反動秋山局長は、結局は、わが動労千葉千三百の怒りの前に、追放されるしかなかったのである。

反動秋山追放は反処分闘争の勝利を決定づけた

秋山差別労政のだ棄すべき反動性は、千葉局赴任の際に、動労「本部」反動分子をして「局長が替ったからお前達を首にするぞ」等と現場末端職制までにもどう喝を加えることを容認し、もって動労千葉破壊のための秋山―「本部」反動分子連合ぶりを発揮したのに始まり、以来、4・17津田沼襲撃事件を頂点とした数知れない「本部」反動分子による動労千葉破壊攻撃を隠然と容認してきたのである。そればかりか、七九年十二月には「暴力行為の絶滅について」なる局報号外を発して公然と動労千葉破壊を宣言し、もって「本部」反動分子による八〇年四・一五津田沼襲撃事件を利用し、「本部」反動分子の処分要請にこたえて布施副委員長の解雇処分を強行、しかも、これでも動労千葉破壊が成功しないとみるや、三月ジェット決戦つぶしのために足しげく動労「本部」通いを行って動労千葉破壊を画策し、助役機関士強行導入と「本部」スト破りの力を借りるという前代未聞の悪業を働らいたのである。かかる悪虐非道な反動局長は千葉から追放されてしかるべきであった。

それゆえに、わが動労千葉は、三月ジェット決戦闘争を、「本部」スト破り集団と結託した「秋山差別労政打倒」を一方の柱にして闘ったのである。そして三月ジェット決戦五日間ストライキをもって痛打を浴びせ、反処分長期非協力闘争をうちぬいて、ついに秋山追放をかちとったのだ。

全組合員のみなさん。

三月ジェット決戦闘争の成果はより一層厚みをつけた。まさしく「カラーテレビ一台、軍手10足」などでは、計り知れない成果と組織的前進を勝ちとったのである。

この力をさらに倍加させ、動労千葉組織破壊攻撃粉砕・動労大改革―銚子支部結成・組織強化拡大へむけて前進しよう。

79.12.27 ジェットスト(10.22,11.1)に解雇を含む106名の大量処分を強行

動労千葉とジェット闘争破壊に奔走した反動秋山局長

機動隊員の前を竹ザオを背に引き揚げる本部オルグ団
「本部」反動分子の動労千葉破壊を容認

千葉動労106人処分

成田燃料輸送スト 中野書記長は解雇

【千葉】国鉄当局は二十七日、国鉄千葉動力車労働組合（関宗委員長、千二百人）による成田空港へのジェット燃料輸送列車ストなどに対し、同組合の中野書記長（三十）（千葉運転区動労千葉組合）に、公共企業体等労働関係法（公労法）第一七条（争議行為の禁止）として強く反発、あす二十八日から、処分に抗議する闘争に入るとともに、年明け早々にも、中野書記長に対する処分不当を訴え千葉地労委に対して救済申立を起こす。

あすから抗議の減速闘争

80.4.15 「本部」の春闘スト妨害を容認

80.5.31 4.15事件で「本部」のタレコミにこたえ布施副委員長（当時組織部長）に解雇処分を強行

襲撃者も一人処分

津田沼乱闘で

ヘル部隊衝突、ケガ人

動労本部の三百人 千葉動労の集会

前原西一ノ三三、国鉄津田沼電車区でスト前夜の集会を…の国鉄津田沼電車区動労三百人が押…

之一百名に対した十…

…してきたのは動労本…

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！